事務事業評価表(一般事業)

評価対象年度	平成	2	28	年	度
1次評価日(主幹等)	29 年	3	月	30	日
2次評価日(課長等)	29 年	3	月	31	日

1 事業名	ごみ減量啓発指導事業	コード	81101

2 担当部課 部等市民環境部 課等 市民環境課 作成者 黒渕 浩人

	H2	標 自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち					
	体 系 政 策	循環型社会の構築	施 策	廃棄物対策の推進			
3 事業概要	予算科目	ごみ減量啓発指導事業費	業務委託	一部委託			
	実施義務	あり(義務的・標準的事業)	国県補助	なし			
	根拠法令	廃棄物処理及び清掃に関する法律	(昭和45年)	法律第137号)			

●事業の内容(DO)

	4	事業の概要等 *対象者(誰のため)、意図(どのような状態にしたいのか)							
事業の概要 (簡潔に) ごみ減量と3Rの推進を図るため、講習会や学習会を開催、啓発イベントの実 チラシなどによる意識啓発活動を行う。									
	目 対象者 ごみを排出する市民や事業者								
		的 意 図	ごみ減量と3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進						

5 事業の実施内容

- *28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
- ・衛生事務嘱託員を委嘱し、市民に分別等ごみ減量に向けた指導、啓発を行った。
- ・出前講座、工場見学、講習会などきめ細かな学習会を開催した。(15回、742人参加)
- ・「岡谷エコフェスティバル2016」、「もったいない食器市」をララオカヤで開催し、市民に意識啓発を図った。(2,200人参加)
- ・その他プラスチック、生ごみの拠点回収事業を継続的に実施した。
- ・広報おかやに、3ヶ月ごと燃えるごみ量の推移と過去3ヵ年の比較を掲載した。
- ・広報おかやに、ごみ処理経費の内訳を掲載し、ごみ処理経費の負担について理解を求めた。
- ・レジ袋削減を目指し、県、諏訪地域の取り組みに参加し、市民の理解を求めた。
- ・事業系ごみ減量のため、市内の事業所に訪問し、ごみが適正に排出されているか確認した。。 また、湖周行政事務組合で実施するごみ搬入検査に職員が立会い、ごみが適正に持ち込まれているか 監視、指導を行った。

前年度の課題への 対応

- ・広報誌を通じた意識啓発を図った。
- ・イベントなどの機会を利用し、分別及びごみ減量に対する周知を図った。
- ・市内の事業所に、事業系ごみの取り扱いについてのチラシを配布し周知を図った。

6 指標の達成状況 *活動指標:この事業の規模、成果指標:この事業によって得られる住民の満足度 区分 26年度 27年度 28年度 29年度(予算) 出前講座などの勉強会、施設見学などの事業件数 ① 活動指標(指標名) 単位 件数 22 15 実績値 事業の実施回数(サンデーリサイクルは除く) * 指標の説明 ② 成果指標(指標名) ごみ量 単位 Kg 目標値 15, 664, 000 15, 544, 000 15, 398, 000 14, 756, 000 13, 464, 758 13, 204, 605 13, 764, 010 実績値 113.8% 115.4% 116.6% 達成度 * 指標の説明 * 総ごみ量 「湖周地区ごみ処理基本計画」の予測値 * 目標値の設定方法の説明

7 ア) コストの推移 * この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算)
① 直接事業費	26, 488, 286	22, 042, 833	21, 974, 369	21, 283, 000
経常経費	23, 488, 286	22, 042, 833	21, 974, 369	21, 283, 000
臨時的経費	3, 000, 000	0	0	0
* 臨時的経費の説明				

補	助金負担	担金名	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算)
2	人件費		10, 800, 000	10, 000, 000	10, 000, 000	9, 200, 000
	正規職	員の人数(人)	1. 35	1. 25	1. 25	1. 15
3	合計コ	スト (①+②)	37, 288, 286	32, 042, 833	31, 974, 369	30, 483, 000
	前年度.	比	#DIV/0!	85. 9%	99. 8%	95. 3%
	財源	一般財源	33, 806, 286	28, 520, 833	31, 461, 369	29, 935, 000
	内訳	特定財源	3, 482, 000	3, 522, 000	513, 000	548, 000
	* 特定	財源の説明	*ごみ処理施設立地地	域対策交付金、廃棄物処	^卫 理業許可申請手数料、	リサイクル基金繰入金
4) 活動一 <u>i</u>	単位あたりコスト	1, 558, 558	2, 136, 189	2, 131, 625	
	前年度比			137. 1%	99. 8%	
(5)	⑤ コストに関する補足説明					

イ)補助金負担金の状況

[単位:件、円、%]

[単位:円]

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度 (予算)
岡谷衛生自治会連合	件数	1	1	1	1
会補助金	金額	129, 600	129, 600	129, 600	129, 600
地区衛生自治会補助	件数	21	21	21	21
金	金額	5, 007, 820	5, 024, 245	4, 985, 847	4, 980, 000
会議等出席負担金等	件数	1	1	1	1
	金額	15, 000. 00	15, 000. 00	15, 000. 00	35, 000. 00
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金	合計金額	5, 152, 420	5, 168, 845	5, 130, 447	5, 144, 600
等合計金額及び割合	割合	19. 45%	23. 45%	23. 35%	24. 17%

^{*} 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8	妥当性評価	*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高	<u>い</u>
		評価項目		はい	いいえ
	① 現時点で	、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。		1	
	② 民間(企	業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要	がある。	1	
	③ 民間(企	業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していな	い。	1	
	4 国・県の	事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
	<u>⑤</u> この事業	の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9	有効性評価 * 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。 有効性	標	<u>準</u>
	評価項目	はい	いいえ
	1 この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
	② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
	③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
	④ この事業の利用者が増加した。 成果指標の実績値 前年度比 98.1%		
	⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 成果指標の目標値 達成度 116.6%	1	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)

・平成28年度の燃えるごみの量は前年度に比し減少したが、事業系ごみは増加しているため、 減量へ向けた対策が必要。

_題・家庭ごみに含まれる生ごみの減量への取り組み。

・事業系ごみ搬入検査時に職員が立会いを実施し、ごみの適正な持込の指導を強化する。

・一般廃棄物収集運搬業者へ、ごみ搬入の際の遵守事項を徹底するよう書面にて通知する。

・排出事業者へ事業系ごみの取り扱いについて周知し、ごみの適正な排出を促す。

方 ・生ごみの定位置収集については、夏場の腐りやすい時期に効率的に排出できるよう 法 7、8月の収集を週1回から2回へ増やし、実施する。

改善開始時期 平成29年4月

●次年度の計画 (PLAN)